管内の百名山「会津駒ヶ岳」

会津駒ケ岳山頂

会津駒ケ岳（標高2,133㍍）は、福島県檜枝岐村の尾瀬国立公園の北側に位置し、日本百名山に選ばれています。

登山口は滝沢、キリンテ、七入、御池の４ケ所ありますが、最短で登れる滝沢登山口が一般的で山頂まで約４時間、途中には清水が湧き出す水場があり絶好の休憩地点となっています。登山シーズンは、残雪が残る５月から紅葉が終わり初冠雪のある10月初めまでとなります。

山頂付近の地形はなだらかで、中門岳にかけて広がる湿原には木道が整備され、雪解け水が多くの池塘を潤し、春にはチングルマ、ハクサンコザクラ、ワタスゲ等多くの高山植物が咲き誇り大勢の登山客で賑わいます。

また、春遅くまで雪が残ることから、山スキーの入山者も多く訪れます。

山頂からは男体山、日光白根山、燧ケ岳、至仏山、越後三山、平ケ岳等々の眺望が楽しめ、条件がよければ富士山も見ることができます。

駒の小屋前の雪渓で遊ぶ登山者

この一帯は原生的な天然林が残る国有林であり、野生の動物相が豊かで生態系を指標するツキノワグマやクマタカなどの生息も多く確認されていることから、山頂付近は奥会津森林生態系保護地域の保存地区（コアゾーン）に区分し、厳正な維持を図る地域に指定しています。

南会津支署では、これからも会津駒ケ岳の自然豊かな森林の保全に努め、末永く登山者の皆様に楽しんでいただけるよう取り組んで参ります。

滝沢登山口

（会津森林管理署南会津支署広報広聴連絡官）